

奈胡 或は奈古、那古とも作き、今は南胡と作けり、東西二村有り、○中 明徳二年法善寺領記に、
七段奈胡庄、淺原郷之内中泥村有之云々、○中

稻積 里名に記せり

布施 春米村明王寺の地藏靈驗記に、胡摩郡布施庄と申は、上古小井河庄とぞ申ける、其頃儀丹
上人と云明匠あり、○中 帝王御病腦により祈禱を命ぜられ、法驗新らたなればとて、其地を布施
物に給へり、因て地名となると云々、○中

下山 大系圖に下山小太郎光重は秋山太郎光朝の男とあり、○中 本村は西に山を負ひ、東は富士川に傍ひ、北に早川の急湍あり、南は身延山に續き、波木井村の堺宮の北に、關島と云處存り、關門の跡なるべし、界内方一里餘、要害堅固なる地にして、河内領第一の般邑なり。

都留郡

鶴田 奥田丸の舞に、奥田丸は和田義盛の弟、和田三郎宗實が子、この年十三、雲井の鶴を射とめ
ける、賴朝鳥帽子兒として、和田の平太胤長と名のり、則ち數多の庄を賜ふ、近江に河原庄、伊勢に
車庄、尾張に青柳庄、美濃に山田庄、信濃にサヘの庄、甲斐に鶴田庄、越前に田中庄、よき庄、七箇所
賜はるとあり、本郡の鶴川鶴島の兩村に、鶴田といふ地あり、此あたり古時の鶴田の庄ならんか、
猶考ふべし。

大原 河口湖の涯に繁回たる、大石、長濱、大嵐、鳴澤、勝山、木立、船津、河口、淺川、新倉等の諸村を大原
の庄なりといふ、古時八代郡に屬けりといふ、○中

波加利 里名にもあり、○中 按に、波加利は初狩なり、又初雁と作く、黒岱より下初狩まで皆一郷
なるべし、今中初狩下初狩ありて上初狩なし、黒岱蘆窪又阿彌陀海といふ、白野の三村、古へ上初狩の地
ならん、